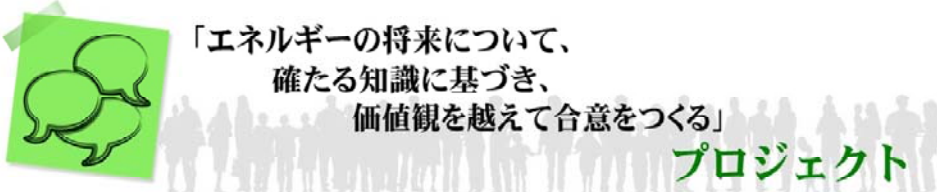


※発言をそのまま書き起こしたデータを基に、個人情報に関する部分を削除し、文意が通るように修正を行っています。

ディスカッション 「エネルギーの将来について考えるには」

ステップ4：これからの講義で聞きたいポイントは何か




「エネルギーの将来について、
確たる知識に基づき、
価値観を越えて合意をつくる」
プロジェクト

〔ステップ4 …5分〕
**これからの講義で
聞きたいポイントは何か**

- 4回それぞれの講義に入れてほしいポイントは？
- 4人の専門家に質問してみたいことは？
- なんでも自由に言ってみよう

講師の先生には
ちゃんと伝えます。



木村：では、ステップ4です。今後のワークショップで、講師の先生に講義をしてもらうのですけれども、そのときに、それぞれの講師の先生にどういことを聞きたいか。〈エネルギー安定供給〉の先生にはこういうポイントを聞きたいですとか、〈環境適合性〉の先生にはこういうポイントを聞きたいですとか、そういうものがあれば、今言っていたら、私がここでメモしていきますけれども、いかがですか？

〈経済性〉は、松尾先生が講師ですけれども、発電コストの話を中心にしていただこうと思います。どういうところまでコストに入っていて、どこまで考慮してやっているのか、という話がメインになると思います。

〈安全性〉は、諸葛先生に話していただきますが、福島事故がどうなって、今、原子力の安全性をどのように考えているか、という話がメインになります。例えば、先ほど「放射線はどこまで本当に影響があるのか」という話がありましたけれども、そういうことを聞きたければリクエストしておきますけれども。

B：放射性物質とその人体に対する影響の話が特に気になります。

木村：他はいかがですか？ そんな感じでリクエストをいただければと思います。

E：〈安全性〉の先生が、原発の事故の際にテレビでいろいろ話をしていたと聞いたのですが、〈安全性〉について発言するときに、どういう気持ちでされていたのか（笑）。どこまでも批判が来そうな気がするので、難しいのではないかと改めて思っています。

木村：どんな気持ちで？

E：ちょっとうまい表現が見つからなかったのですけれども。

木村：はい。たぶん通じると思います。

他はいかがですか？

C：〈環境適合性〉と〈安全性〉の違いは、それぞれの先生に、どこまで考えているのかを聞いてみたいです。

F：〈経済性〉ですけれども、今あるいろいろな発電方法の中で、一番効率的に発電できているものは何かということと、一番無駄が多いものは何か。〈経済性〉だけで見たときに、どれが一番有効で、どれが一番駄目なのかという順位を知りたいです。

木村：マニアックな話ですね。他はどうですか？

G：〈環境適合性〉と〈安全性〉のそれぞれの評価の仕方と、その天秤のかけ方というか。実際にどう運用しようかと決めるにあたって、〈安全性〉をどう評価して、これならいけるというのをどう決めたのか。

木村：どこまでが安全ということなのか、ということですか？

G：はい。それで、このくらいだったらもう OK というのをどう決めたのか。

木村：他はどうですか？

B：どこに入るか分からないのですけれども、先ほどのアンケートで、火力が9割という話があったと思います。水力と新エネルギーはちょっとでしたけど、そのちょっとだった水

力や新エネルギーの活用がどこまで現実的なのか。それから、どうして日本のエネルギー供給は火力依存なのか。

木村：ちょっとの水力、新エネがどこまで活用できるか？

B：はい。あとは、同じくらいのエネルギー供給の内訳にできるのかとか。

木村：火力がなぜメインなのか、ですね。どうにかできるのか、ということですね。〈エネルギー安定供給〉に入ると思います。

DさんやAさんはどうですか？

A：〈エネルギー安定供給〉は、何年間くらいを見据えて安定供給と言っているのか。

木村：Dさん、どうですか？

D：うーん。大丈夫です。

B：全体的に、他の国との比較。確か、ドイツが原子力を止めたのでしたっけ？ 他の先進国と比べてどうなのかとか。原子力に限らず、全体的に。

木村：他の国との比較。ドイツは脱原発したけど、それも事例のひとつとして、ということですね。

他はどうですか？

C：〈経済性〉で、開発のコストについても触れていただけると嬉しいです。

木村：他はいかがですか？ よろしいでしょうか。では、この辺りは先生方に共有して、資料の中に入れてもらおうと思いますので、お楽しみに。

ということで、予定時間を過ぎてしまいましたけれども、ディスカッションは以上で終わりにしたいと思います。